

# 令和6年度 第79回 大学院セミナー

令和7年 1月 29日

講座名 (責任者名)(内線)	医歯薬学総合研究科 情報病理学分野 責任者名(福岡 順也) 内線(7055)
演題	数年後に医師は診断と治療をしなくなるのか？ ——AI 研究者と病理医が徹底討論
講師等	カリスト株式会社 CEO /長崎大学大学院 客員准教授 韓 昌熙 先生
概要	近年、医療 AI の進化により、「将来、病理医は不要になるのではないか」とか、「医師の診断業務は AI に完全に置き換わるのではないか」といった議論が活発化しています。AI が診断精度を向上させ、総合的な能力でヒトを凌駕する時代が訪れたとき、果たして医師の役割は消滅するのでしょうか？ それとも、AI には決して代替できない医師の本質的な役割があるのでしょうか？ 本ディベートでは、「AI が医師を駆逐する」と考えるコンピューターサイエンティストと、「医師の存在は不可欠である」と考える病理医が、それぞれの立場から根拠を示し、徹底討論を行います。モデレーターを交えた白熱の議論に加え、参加者も積極的にディスカッションに参加し、AI の発展が医療に及ぼす影響を多角的に考察します。 AI が医療をどのように変革するのか？ そして医師の未来はどうなるのか？ この問いに対する理解を深める絶好の機会となるでしょう。 (録画および後日 YouTube 公開を予定しています)
開催日時	令和7年3月10日(月) 18:00~19:00
場所	情報病理学研究室(医歯薬学総合教育研究棟5階) 対面・オンライン(ハイブリッド開催)
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスカッションに参加されたい方は会場にてご参加ください。</li> <li>● 受講を希望される方は、<b>会場・オンライン</b>どちらでの参加希望かを記載の上、事務担当までメールでご連絡ください。当日使用する URL をご案内いたします。</li> <li>● セキュリティカード不所持、場所が不明な方は、下記へお問合せください。</li> </ul> 事務担当：情報病理学 廣瀬 (hirosey@nagasaki-u.ac.jp)

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)